

# 日本語ワードプロセッサ 検定試験合格の可能性と 入力文字数の関係

菊地 紀子

## Possibility of Passing License Examination

Noriko KIKUCHI

### はじめに

一般情報処理教育として、キーボード教育の必要性や重要性が指摘されて久しい<sup>1)</sup>。また、情報処理教育の導入部として、キーボード教育を取り入れている学校は枚挙にいとまがない<sup>2)</sup>。しかし、キーボード教育が徹底されているかどうかに関しては、実際には時間的制約や本人のやる気に依存しているのが現状である<sup>2) 3)</sup>。そこで、操作がスムーズに行えるタッチタイピングの必要性を認識させ、またコンピュータアレルギーを起こさせないために、目的意識を持った授業への参加が重要になる<sup>4)</sup>。前々報<sup>5)</sup>で報告した日本語文書処理技能検定試験（主催：日本商工会議所）の結果より、前期から授業を受けていて入力文字数250文字/10分以上の学生には、授業以外の練習時間数は必要なく、後期の授業時間数だけでも3級合格は可能であることが示唆された。この結果から本学の情報教育科目において、従来通年で行っていた文書作成実習を半期の授業とした。検定取得希望者については、残り半期間は自主練習とした。

さらに、前報<sup>6)</sup>の授業形態の違いにより検討した結果、通常授業（週1回）より短期集中授業の方が効果的であることが示唆された。

そこで今回は、より効果的な指導を行うため、入学時のアンケートを基にグループ分けをし、授業を行い、最終試験の入力文字数から、日本語文書処理技能検定試験（主催：日本商工会議所）および日本語ワードプロセッサ検定試験（主催：日本ワープロ検定協会）合格の可能性の検討を行った。

### グループ分けおよび開講時期

入学時に行ったアンケートの内容を表1に示した。

表1

入学時アンケート

情報関係科目に関するアンケート 質問項目は20あります。①～⑩は該当者のみ、それ以外は全員いづれかに マークをして下さい。	
① 中学のときにコンピュータを使った授業を受けましたか。 はい・・・1      いいえ・・・2	
② 高校のときにコンピュータを使った授業を受けましたか。 はい・・・1      いいえ・・・2	
③ 家にワープロがありますか。 はい・・・1      いいえ・・・2	
④ 家にパソコンがありますか。 はい・・・1      いいえ・・・2	
⑤ キーボード操作について ほとんどはじめて・・・1	グループⅢ
少しはキーの位置がわかる・・・2 だいたいキーの位置がわかる・・・3 両手で打てる・・・4 手元を見ないで打てる・・・5	グループⅡ
⑥ ワープロについて 使ったことがない・・・1 少し触ったことがある・・・2 年賀状などを作ったことがある・・・3 習ったことがある・・・4 検定を持っている・・・5	グループⅠ
⑦ パソコンについて 使ったことがない・・・1 少し触ったことがある・・・2 ゲームなどをしたことがある・・・3 習ったことがある・・・4 検定を持っている・・・5	
⑧ インターネットについて 聞いたことがある・・・1 見たことがある・・・2 触ったことがある・・・3 ホームページを作ったことがある・・・4 アクセスしたことがある・・・5 見たことも聞いたこともない・・・6	
⑨ WINDOWSについて 聞いたことがある・・・1 見たことがある・・・2 触ったことがある・・・3 ゲームをしたことがある・・・4 WINDOWSのソフトを使ったことがある・・・5 見たことも聞いたこともない・・・6	
⑩ その他 マスを使って絵を描いたことがある・・・1 動画を作ったことがある・・・2 BASICを使ったことがある・・・3 C言語を使ったことがある・・・4 COBOL/FORTRANを使ったことがある・・・5 いづれもない・・・6	

- ①～④の項目で「はい」と答えた人および、検定を持っている人は次の⑤～⑧も答えて下さい。⑨、⑩、⑪は全員答えて下さい。
- ① 中学で受けたコンピュータを使った授業は何の科目でしたか。  
1 家庭科 2 技術 3 数学 4 理科 5 情報処理 6 その他
- ② 高校で受けたコンピュータを使った授業は何の科目でしたか。  
1 家庭科 2 技術 3 数学 4 理科 5 情報処理 6 その他
- ③ 家にあるワープロはこのメーカーですか。  
1 富士通 2 NEC 3 東芝 4 シャープ 5 その他 6 知らない
- ④ 家にあるワープロの名前は何か。  
1 777A 2 文豪 3 88 4 劇院 5 一太郎 6 その他 7 知らない
- ⑤ 家にあるパソコンはこのメーカーですか。  
1 富士通 2 NEC 3 東芝 4 シャープ 5 その他 6 知らない
- ⑥ 持っているワープロ検定はこの何級ですか。  
1 全商4級 2 全商3級 3 全商2級 4 全商1級  
5 日商4級 6 日商3級 7 日商2級 8 日商1級 9 その他
- ⑦ 持っているパソコン検定は何級ですか。  
1 4級 2 3級 3 2級 4 1級 5 その他
- ⑧ 検定を取得したいですか。  
はい・・・1 いいえ・・・2
- ⑨ 検定を取得するためには努力を惜しみませんか。  
はい・・・1 いいえ・・・2
- ⑩ 何の検定を取得したいですか。  
ワープロ検定・・・1  
表計算(Lotus1-2-3)検定・・・2  
パソコン検定・・・3  
取れるものなら何でも・・・4  
検定は知らない・・・5

アンケートの質問項目のうち⑥の中で、「検定を持っている」にマークをした者を「Ⅰワープロ検定既取得者」、⑤の中で、「ほとんどはじめて以外」にマークをした者を「Ⅱキーボード操作経験者」、「ほとんどはじめて」にマークをした者を「Ⅲキーボード操作未経験者」とした。

これらのグループ分けおよび開講時期を表2に示した。Ⅰのグループは、上位級を目指しより効果的な指導を行うため、短期集中授業（夏休み）とした。Ⅱのグループは、前期に通常授業（週1回）を行い12月の検定試験を目指した。Ⅲのグループは、後期に通常授業（週1回）を行い次年度の検定試験を目指した。

### 結果および考察

#### グループ別最終試験の入力文字数について

グループ別最終試験の入力文字数を表3に示した。10分間の入力文字数を50文字単位で区切り、対象者の人数割合をグループ別に示したものである。

Ⅰのグループでは、ⅡおよびⅢのグループと比較し、

150字/10分以下の学生は1人もいなかった。しかし、入力文字数が151から400字/10分までの広範囲に渡っており、これはワープロ検定を取得した時期や級によるばらつきが考えられる。すなわち、1度でも検定取得にまで至った学生は、キーボード操作未経験者と同レベルに戻ることはなく、ある程度の練習で入力文字数151字/10分以上になることが推察される。

ⅡおよびⅢのグループはともに、2桁から400字/10分まで全体に分布していた。これは、Ⅱのグループについては、キーボード操作経験があるといっても、少しはキーの位置がわかる学生から、手元をみないで打てる学生まで含まれていたためと考えられる。また、Ⅲのグループについては、前々報<sup>5)</sup>でも述べたとおり、学生の目的意識、意欲が大きく関与していることが推察される。ローマ字入力のためのキーボード練習では、まずアルファベット入力から始めるのが一般的であるが、高橋らにより、単純なアルファベット入力より、単語入力の方が個人的な差がみられると報告されており<sup>7)</sup>、また阿部により、ワープロ経験がないと判断できる学習者について、入力文字数の伸びの程度は、学習者によるばらつきが非常に大きかったと報告されている<sup>8)</sup>。

#### 日本語文書処理技能検定試験3級合格の可能性について

前々報<sup>5)</sup>の結果より導き出された日本語文書処理技能検定試験（主催：日本商工会議所）3級合格可能性ラインを250字/10分として設定し、検討した結果を表4に示した。250字/10分のボーダーラインをクリアしている学生は、Ⅰのグループでは86%であった。また、Ⅱのグループでは22%、Ⅲのグループでは8%であった。Ⅰのグループについては、過去に何級にしる検定を取得したことがあるにもかかわらず、250字/10分以下の学生が14%いたことは否定しがたい

表2 入学時アンケートによるグループ分け及び開講時期

グループ	開講時期
Ⅰ ワープロ検定既取得者 (57名)	短期集中授業(夏休み)
Ⅱ キーボード操作経験者(198名)	前期通常授業(週1回)
Ⅲ キーボード操作未経験者(174名)	後期通常授業(週1回)

表3 グループ別最終試験の入力文字数 (%)

入力文字数 ローマ字入力 (10分間)	100	101	151	201	251	301	351
	以下	～ 150	～ 200	～ 250	～ 300	～ 350	～ 400
I 検定既取得者	0	0	2	12	21	19	46
II 経験者	1	7	27	43	13	5	4
III 未経験者	1	26	49	16	6	1	1

事実であった。効果が予想される短期集中授業（夏休み）を受けたにもかかわらず、このような結果となったのは、取得級が初級程度で、また検定取得後かなりのブランクがあったものと考えられる。

日本語ワードプロセッサ検定試験4級合格の可能性について

日本語ワードプロセッサ検定試験4級合格基準（主催：日本ワープロ検定協会）の入力文字数200字/10分と、この合格基準より50文字少ない150字/10分の二段階の合格可能性ラインを設定し、検討した結果を表5に示した。4級合格基準（200字/10分）を満たしている学生は、Iのグループでは98%、IIのグループでは65%、IIIのグループでは24%であった。これらの学生については、実際に日本語ワードプロセッサ検定試験4級（主催：日本ワープロ検定協会）を受けると仮定した場合、合格可能性が当然100%であろうと考えられる。4級合格基準を満たしていない学生でも、Iのグループでは残り2%、IIのグループ

では27%、IIIのグループでは49%が151字/10分以上であった。この結果、合格基準より50文字少ない150字/10分を4級合格のボーダーラインとした場合、これらの学生についても4級合格の可能性があると推察される。

日本語ワードプロセッサ検定試験3級合格の可能性について

日本語ワードプロセッサ検定試験3級合格基準（主催：日本ワープロ検定協会）の入力文字数300字/10分と、この合格基準より50文字少ない250字/10分の二段階の合格可能性ラインを設定し、検討した結果を表6に示した。3級合格基準（300字/10分）を満たしている学生は、Iのグループでは65%、IIのグループでは9%、IIIのグループでは2%であった。これらの学生については、実際に日本語ワードプロセッサ検定試験3級（主催：日本ワープロ検定協会）を受けると仮定した場合、合格可能性が当然100%であろうと考えられる。3級合格基準を満たしていない学生

表4 日本語文書処理技能検定試験3級合格可能性 (%)

入力文字数 ローマ字入力 (10分間)	100	101	151	201	251	301	351
	以下	～ 150	～ 200	～ 250	～ 300	～ 350	～ 400
I 検定既取得者		14			86		
II 経験者		78			22		
III 未経験者		92			8		

表5 日本語ワードプロセッサ検定試験4級合格可能性(%)

入力文字数 ローマ字入力 (10分間)	100	101	151	201	251	301	351
	以下	～ 150	～ 200	～ 250	～ 300	～ 350	～ 400
I 検定既取得者	0		2	98			
II 経験者	8		27	65			
III 未経験者	27		49	24			

でも、Iのグループでは21%、IIのグループでは13%、IIIのグループでは6%が251字/10分以上であった。この結果、合格基準より50文字少ない250字/10分を3級合格のボーダーラインとした場合、これらの学生についても3級合格の可能性があると推察される。

さらに、グループ別の中で最も人数割合の高い文字数について検討した。Iのグループでは、351から400字/10分が46%であり、IIのグループでは、201から250字/10分が43%であり、IIIのグループでは、151から200字/10分が49%であった。この結果、Iのグループには日本語文書処理技能検定試験(主催:日本商工会議所)3級、IIのグループには日本語ワードプロセッサ検定試験(主催:日本ワープロ検定協会)3級、IIIのグループには日本語ワードプロセッサ検定試験(主催:日本ワープロ検定協会)4級合格の可能性が示唆された。

また、IIおよびIIIのグループについては、151から

250字/10分の範囲に入っている学生が、IIIのグループでは65%であった。この結果から初めてキーボードに触った学生でも、半期間の練習で151字/10分以上にはなるが、IIのグループでは70%であった結果から、250字/10分が一つの壁と考えられる。浅木森らにより日本語入力に関しては、タッチタイピングの技術以外に、読みの入力から、かな漢字まじり文への変換操作の効率よい技術習得が必要との報告もある<sup>9)</sup>。従って、これらIIおよびIIIのグループの学生に対して、確実に合格基準に達するように指導するためには、本学においても今後タッチタイピングの技術以外に更なる検討が必要であると考えられる。

#### あとがき

目的意識を持った授業への参加、また就職に有利になる資格を取れるように指導するという目的で、今回は日本語文書処理技能検定試験(主催:日本商工会議

表6 日本語ワードプロセッサ検定試験3級合格可能性(%)

入力文字数 ローマ字入力 (10分間)	100	101	151	201	251	301	351
	以下	～ 150	～ 200	～ 250	～ 300	～ 350	～ 400
I 検定既取得者	14				21	65	
II 経験者	78				13	9	
III 未経験者	92				6	2	

所) および日本語ワードプロセッサ検定試験(主催: 日本ワープロ検定協会) 合格の可能性について、授業の最終試験の入力文字数から検討を行った。

日本語ワードプロセッサ検定試験合格には、入力試験だけではなく、ビジネス文書作成試験もある。しかし、いずれにしろ時間制限の中で作成するわけであるから、入力の早さが必要不可欠である。その他にも合格要因はあるかもしれないと考えられるが、高橋らにより入力の早さというのは、日本語ワードプロセッサ検定試験合格の一つの目安となるという報告もある<sup>7)</sup>。

今回の結果から、Ⅰのグループでも検定取得時と同レベルを維持するには、絶え間ない努力が必要であり、ⅡのグループもⅢのグループも、日本語ワードプロセッサ検定試験合格に向けて、どれだけ意欲的に取り組んだかによって、結果は大きな違いを見せた。前々報<sup>5)</sup>でも述べたとおり、学生の目的意識、意欲が大切なことが今回も示唆された。

また、今回の結果では、初めてキーボードに触った学生でも、半期間の練習で151字/10分以上にはなるが、キーボード操作経験のある学生でも250字/10分が一つの壁と考えられるので、いかに合格にまで結びつけられるように指導するかが今後の課題である。今後はタッチタイピングの技術以外に、読みの入力から、かな漢字まじり文への変換操作の効率よい技術習得の指導や実際の検定受験結果、通年で授業を行うなど、様々な側面から検討を行っていきたいと考えている。

終わりに、本文寄稿にあたりご助言をいただきました増淵久子先生に深謝申し上げます。また、品川弘子先生、黒田圭一先生には、最初から最後まで懇切丁寧なご指導並びにご校閲を賜り、心より厚く感謝の意を表します。なお、資料を提供していただきました本学非常勤講師横関節子先生に深謝申し上げます。

### 引用参考文献

- 1) 大学等における一般情報処理教育の在り方に関する調査研究: 情報処理学会, 平成5年3月
- 2) 情報処理教育研究会講演論文集: 主催 文部省, 平成4年度~平成10年度
- 3) 短期高等教育における情報処理教育の実態に関する調査研究: 情報処理学会, 平成6年3月
- 4) 川島大司: 検定試験が情報処理教育に及ぼす影響,

平成5年度情報処理教育研究会講演論文集, p.256~259, 主催 文部省, 名古屋大学

- 5) 菊地紀子: 帝京短期大学紀要, 9(1993)
- 6) 菊地紀子: 帝京短期大学紀要, 10(1996)
- 7) 高橋宗, 吉川英子: 自主的学習によるキーボード練習の効果(1), 平成6年度情報処理教育研究会講演論文集, p.312~315, 主催 文部省, 九州大学
- 8) 阿部直哉: 自動採点機能を持つワープロ教育支援システムによる学習履歴の収集, 平成9年度情報処理教育研究会講演論文集, p.558~561, 主催 文部省, 室蘭工業大学
- 9) 浅木森和夫, 奥山晃弘, 田中真由美, 松井由佳子: キーボードリテラシーと日本語入力, 平成10年度情報処理教育研究会講演論文集, p.96~99, 主催 文部省, 九州工業大学